

はしがき

■編集の趣旨

巷間をにぎわした、改訂「学習指導要領」による新教科書で学ぶ高校生。受験生用として、期待される発展学習に 대응べく、小社では新しい『発展30日完成シリーズ』を企画し、順次刊行してまいります。

編集にあたっては、小社版簿物シリーズの長所はすべて採り入れ、良問の精選と、詳しくて誰にもわかる解答を心掛けました。

本書は、このシリーズの一冊として、姉妹編古文〔高校初級用〕の後を受け、標準的な入試問題に対応できる古文読解力を養うことを目指して作成しました。高校二年生を主な対象としましたが、理解度に応じて柔軟に使用することが可能です。

■本書の特長

- 1 書名にあるとおり、三十日間、毎日一つの小テーマについて練習を積み重ねると、読解に不可欠な文法上の重要事項を確認でき、その上で発展的に読解力が養えるよう工夫してあります。
- 2 そのため全体は二部構成とし、前半の十二日分を基礎編、後半の十八日分を演習編としました。
 - a 基礎編では、古文読解のキイとなる助動詞・助詞・敬語法。識別に関して、必修事項を取り上げました。
 - b ここでは、上段に「今日の学習」としてその日の学習事項を整理してまとめてあります。この部分は、最終的には記憶すべき事項と考えてください。

編著者

目次

〔基礎編〕

第1日	助動詞の要点(1)	過去・完了	4
第2日	助動詞の要点(2)	推量 ¹	6
第3日	助動詞の要点(3)	推量 ²	8
第4日	助動詞の要点(4)	断定・伝聞推定・打消・打消推量	10
第5日	助動詞の要点(5)	受身・使役・願望・比況	12
第6日	助詞の要点(1)	係助詞と係り結びの法則	14
第7日	助詞の要点(2)	格助詞・接続助詞	16
第8日	助詞の要点(3)	副助詞・終助詞・間投助詞	18
第9日	敬語法の要点(1)	敬語の種類	20
第10日	敬語法の要点(2)	注意すべき敬語	22
第11日	紛らわしい語の識別の要点(1)		24
第12日	紛らわしい語の識別の要点(2)		26
〔演習編〕			
第13日	宇治拾遺物語(1)	基本語句の意味	28
第14日	宇治拾遺物語(2)	人物関係の把握	30

第15日	十訓抄(1)	和歌の修辞	32
第16日	十訓抄(2)	助動詞の活用	34
第17日	徒然草(1)	助動詞の意味	36
第18日	徒然草(2)	筆者の主張を読み取る	38
第19日	枕草子(1)	人物の心情を読む	40
第20日	枕草子(2)	敬語のはたらき	42
第21日	伊勢物語	品詞分解	44
第22日	大和物語	主語の補充	46
第23日	源氏物語(1)	会話の話し手	48
第24日	源氏物語(2)	助動詞の接続	50
第25日	更級日記(1)	動詞の活用	52
第26日	更級日記(2)	内容把握	54
第27日	大鏡(1)	省略語の補充	56
第28日	大鏡(2)	語の識別	58
第29日	平家物語(1)	指示語の指示内容	60
第30日	平家物語(2)	理由説明	62

月 日 曜日

今日の練習

1 《き》

① 過去 …た

* 1 連用形に接続。

ただし、カ変・サ変には次のとおり。

〈カ変〉こーし こーしか

〈サ変〉せーし せーしか しーき

* 2 本来、話し手が直接に体験した過去の事実を述べるときに用いられる(経験回想)。

2 《けり》

① 過去 …た …たそうだ

② 詠嘆 …ことだなあ

* 1 連用形に接続。

* 2 本来、話し手が間接的に伝え聞いた過去の事柄を述べるときに用いられる(伝聞回想)。

* 3 詠嘆の場合、原則として和歌・会話文の中で用いられる。

3 《つ・ぬ》

① 完了 …てしまう …た

② 強意 きっと… …てしまう

* 1 連用形に接続。

* 2 強意の場合、後に推量の助動詞が付く。

例 つべし つらむ てむ てまし
ぬべし ぬらむ なむ なまし

4 《たり・り》

① 存続 …ている …てある

② 完了 …た

* 1 たり||連用形に接続。

り || 四段活用の已然形(命令形とする説もある)とサ変の未然形に接続。

* 2 語源に「あり」を含むことから、存続が原義。

5 過去・完了の複合助動詞

- ① ……にき・にけり
- ② ……にたり
- ③ ……てき・てけり
- ④ ……たりき・たりけり
- ⑤ ……りけり

基本形	未然	連用	終止	連体	已然	命令
き	(せ)	○	き	し	しか	○
けり	(けら)	○	けり	ける	けれ	○
つ	て	て	つ	つる	つれ	てよ
ぬ	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね
たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ
り	ら	り	り	る	れ	れ

助動詞活用表(1)

1 次の各文から、助動詞「き」「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」を抜き出し、文法的意味と活用形を答えなさい。

(1) その人ほどなく失せにけり、と聞きはべりし。(徒然草)

形	形	形
---	---	---

(2) 年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。(徒然草)

形	形
---	---

(3) 天人の中に持たせたる箱あり。天の羽衣入れり。(竹取物語)

形	形
---	---

(4) 「風吹きぬべし。御船返してむ。」(土佐日記)

形	形
---	---

2 次の傍線部①～⑦を口語訳しなさい。

(1) さて、宇治の里人を召してこしらへさせられければ、…思ふやうにめぐりて、水をくみ入ることめでたかりけり。よろづにその道を知れる者は、やんごとなきものなり。(徒然草)

②	①
---	---

(2) 大門・金堂など近くまでありしかど、正和のころ南門は焼けぬ。金堂はそののち倒れふしたるままにて、とりたつるわびもなし。無量寿院ばかりぞ、その形とて残りたる。(徒然草)

⑤	④	③
---	---	---

(3) かち取りものあはれもいらざ、…はやく往なむとて、「潮満ちぬ。風も吹きぬべし」と騒げば、船に乗りなむとす。(土佐日記)

⑦	⑥
---	---